

「保健医療科学」投稿規程

1. 投稿論文

公衆衛生および社会福祉の向上、普及に資する研究、および活動報告とし、「保健医療科学」編集委員会（以下、編集委員会という。）が掲載の可否を決定する。ただし、他誌に発表（予定も含む）された論文は掲載しないものとし、多重投稿を禁ずる。また、原稿は随時受け付ける。

2. 原稿の種類、内容及び制限頁数

査読つきのもの

総説 (Reviews)

関連領域の調査、研究について参考文献を付して総括的に論ずるもの [12頁以内]

原著 (Original Articles)

独創的な研究にもとづく新知見を含む論文 [10頁以内]

短報 (Brief Reports)

速報など、原著に比べて簡潔で若干の新知見を含むもの [5頁以内]

資料 (Research Data)

調査または統計などをまとめたもの [8頁以内]

報告 (Practice Reports)

国内外の公衆衛生および社会福祉に関する実践、教育、研究などの報告 [5頁以内]

論壇 (Commentaries)

公衆衛生および社会福祉の活動、政策、動向などについての提案、提言 [5頁以内]

査読のつかないもの

解説 (Notes)

関連領域の活動、政策動向、進歩、課題、展望などについて参考文献を付して総括的に解説するもの [12頁以内]

レター (Letters)

掲載論文に対する意見や国内外の公衆衛生および社会福祉に関する実践の報告で時宜を得たものなど [2頁以内]

書評 (Book Reviews)

公衆衛生および社会福祉に関する図書などの紹介 [1頁以内]

* 刷り上り 1 頁は2,600字、英語の場合は850wordsを基本とし、2段組のレイアウトとする。

なお、編集委員会の判断で内容の修正を求められることがある。また、制限頁数を超えた原稿の掲載を認めることがある。

3. 特集について

編集委員会は、各号ごとにテーマを設け、特集を組む。特集の原稿は、専門家への依頼、または、一定の告知期間を設けた投稿募集によるものとする。

4. 発行頻度

年 6 回発行し、必要に応じて補冊 (Supplement) を発行する。

5. 投稿方法

原稿は電子メールに添付して送信するか、原稿を保存した電子メディアを郵送する。

- ・「投稿申込書」(様式 1)
- ・本文 (原則として Word 形式で作成すること)
- ・図表 (必要に応じて)
- ・英文抄録

なお、執筆要領については別に定める。

6. 原稿の審査

原稿の審査および掲載について、利益相反の記述も含め問題があると判断されるときは編集委員会で採否について検討する。

査読つき投稿原稿の採否は、複数の専門家による査読の結果に基づき、編集委員会にて決定する。

7. 論文掲載料・別刷り

論文掲載は無料であるが、掲載論文の投稿者のうち希望者は有料で別刷りを作成することができる（50部単位）。

8. 校正

著者校正は初校までとし、脱落、誤植などの校正とする。原文および図表等の大幅な訂正などは認めない。

9. 著作権およびホームページへの掲載

本誌の著作権は本院に属する。なお、他誌などにその全部または一部を使用する場合は本編集委員会の同意を必要とする。本誌に掲載された論文は、全文を電子化し、国立保健医療科学院のホームページに掲載する。

10. 投稿先

「保健医療科学」編集委員会事務局

e-mail: jniph@niph.go.jp

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6

tel.048-458-6213 fax.048-469-0326

平成28年1月27日改訂

『保健医療科学』執筆要領

「保健医療科学」編集委員会

0. 準拠

当執筆要領は、「生医学雑誌への投稿のための統一規定(2010年4月改訂版)」(以下、「生医学雑誌への投稿のための統一規定」という。)に準拠している。以下に記載の無い事項については、「生医学雑誌への投稿のための統一規定」を参照すること。

1. 著作者の責任

投稿される原稿論文は全ての著者の許諾を得ていること。多重投稿を禁ずる。特に原典から許諾を得た場合を除き、他で出版されていないこと。

2. 投稿申込書

投稿に際し、必ず投稿申込書を添付すること。

3. 原稿の作成

原則としてワード形式で作成し、印字形式はA4版に横書きで、35字×25行程度とする。

4. 原稿の構成

下記は、原著論文の場合の構成であるが、「総説」「短報」「資料」「報告」「論壇」についても、この構成を参考に構成する。第1頁に表紙原稿、第2頁に和文抄録と和文キーワード、第3頁に英文抄録と英文キーワード、第4頁以降に本文を記載する。本文の構成は、緒言(はじめに)、材料と方法(あるいは方法のみ)、結果、考察、謝辞、引用文献(以上、それぞれの見出しの言葉は変えてもよい)、表、図の表題と説明文、図あるいは写真、の順とする。

5. 表紙原稿

表題、著者名、所属機関名、連絡先著者名、住所(電話番号、電子メールアドレスを含む)、簡略化した題名(和文で40字を超えないこと)、図表の数、別刷請求先を書く。表紙頁を第1頁として通し番号をつける。

6. 和文抄録

第2頁に、抄録を和文で作成する。題名、著者名、所属機関名、要旨本文(1000字以内)、キーワードの順に記載する。キーワードは3~5個を和文で記す。原著論文の場合、要旨本文の構成は、目的、方法、結果、結論とし、見出しをつけて記載する。

7. 英文抄録

第3頁に、抄録を英文で作成する。英文題名、著者名英文表記、所属機関英文表記、要旨本文(400語以内)、英語キーワードの順に記載する。キーワードは3~5個を英文で記す。原著論文の場合、要旨本文の構成は、Objectives, Methods, Results, Conclusionsとし、見出しをつけて記載する。英文については、英語に関して十分な知識を持つ専門家にチェックを受けることが望ましい。

8. 利益相反(Conflicts of Interest: COI)に関する情報開示

研究実施や原稿作成などの過程で、バイアスをもたらす可能性のある全ての利害関係(金銭的・個人的関係等)を開示すること。

9. 研究倫理指針の遵守

人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言、「臨床研究に関する倫理指針」、「疫学研究に関する倫理指針」等に準じた、科学のおよび倫理的規範に則り実施されていること。所属施設の倫理審査委員会またはこれに準じるものの承認がある場合は記載すること。

10. 臨床研究・観察疫学研究

臨床研究については、the International Committee of Medical Journal Editors (<http://www.icmje.org/>) に準拠、または、国立保健医療科学院の臨床研究（試験）ポータルサイト (<http://rctportal.niph.go.jp/>) に記載されていること。臨床研究・観察疫学研究の研究方法については、CONSORT (<http://www.consort-statement.org/>)、STROBE (<http://www.strobe-statement.org/>) 等に準拠していることが望ましい。

11. 図、表、写真

原著論文においては、図（写真を含む）、表中の文字、数字、および表題は、和文もしくは英文とする。図表は文章中に挿入、または、一つずつ別の用紙に記載し、図1や表1のように図表番号をつけ、内容の良くわかる表題を付ける。別の用紙に記載した場合は、すべての図表について、本文中に挿入すべき場所を原稿中、または、欄外に指定する。図の電子ファイルは、docx、xlsx、pptx、jpg等の形式で保存する。写真は350dpi以上、文字を含む図は600dpi以上の解像度を有すること。

12. 引用文献の記載と種類

【A】引用文献の記載

文献は引用箇所に文献番号を大カッコ（[]）で記し、本文の最後にまとめて引用順に示す。

例：合田ら [1] によれば

- (1) 記号（普通使われるのは、.、:、-等）の使い分けには十分に注意すること。
- (2) 英数字 alphanumeric は半角とする。
- (3) 記号（.、:、-等）は、日本語の文脈の中では全角を用いる。その他は半角とする。
- (4) 巻の前の；（セミコロン）および頁の前の：（コロン）にはスペースを続けない。

【B】引用文献の種類

引用できる文献はすでに発表された研究、公開されているウェブサイト、掲載決定済みの原稿とする。

(1) 雑誌に発表された論文

Vega KJ, Pina I, Krevesky B. Heart transplantation is associated with an increased risk for pancreatobiliary disease. *Ann Intern Med.* 1996;124:980-983.

笠置文善, 堀部博, 撫井賀代, 吉永亜子. 疫学調査における5分間安静前後の血圧値の差異と一年後の血圧について. *日本公衆衛生雑誌.* 1993;38:31-36.

- ①すべての著者をリストするが、6人を越せば6人を示し、「et al」または「他」を続ける。
- ②終りのページは、始まるのページと共通する桁は省略する。
- ③組織が著者となることがありうる。
- ④附録の場合

Payne DK, Sullivan MD, Massie MJ. Women's psychological reactions to breast cancer. *Semin Oncol.* 1996;23(Suppl 2):89-97.

BMJ. 2009 Jul 28;339:b3005. doi: 10.1136/bmj.b3005. (accessed 2009-09-28)

公衆衛生協会病院骨髄移植班. 日本における骨髄移植の現状. *日本公衆衛生雑誌.* 1993;38(1 附録):31-36.

⑤巻数のない号の時には、「1995;(320):110-114.」.

⑥電子ジャーナルの場合

Michels KB, zur Hausen H. HPV vaccine for all. *Lancet.* 2009 Jul 25;374(9686):268-270. Epub 2009 Jul 6.

Ronco G, Arbyn M, Segnan N. Cervical screening according to age and HPV status. *BMJ.* 2009 Jul 28;339:b3005. doi: 10.1136/bmj.b3005. (accessed 2009-09-28)

(注：BMJ誌は、すべてWeb上の記事を引用するように求めているため、ページ表記はなくなっている。)

Aboud S. Quality improvement initiative in nursing homes: the ANA acts in an advisory role. *Am J Nurs.* 2002 Jun; 102(6). Available from: <http://www.nursingworld.org/AJN/2002/june/Wawatch.htm> (accessed 2009-09-28)

下山昌彦. セキュリティスキャナを用いた偽札の新しい検査手法の開発. *CICSJ Bulletin.* 2005;23(3):95-98. Available from: http://www/jstage.jst.go.jp/article/cicsj/23/3/23_95/_article/-char/ja/ (accessed 2009-09-28)

(2) 図書

① 標準的な著書

Ringsven MK, Bond D. Gerontology and leadership skills for nurses. 2nd ed. Albany (NY): Delmar Publishers; 1996.

野口正成, 小島賢一. エイズ・カウンセリング. 東京: 福村出版; 1993.

編者の場合は人名の後に, 「, editor(s)」または「, 編」を続ける. また, 組織が著者または編者となることがありうる.

柳川洋, 田中平三, 中村健一, 永井正規, 編. 慢性疾患の疫学調査法. 東京: 南山堂; 1991.

② 分担執筆の場合

Phillips SJ, Whisnant JP. Hypertension and stroke. In: Laragh JH, Brenner BM, editors. Hypertension: pathophysiology, diagnosis, and management. 2nd ed. New York: Raven Press; 1995. p. 465-478.

箕輪眞澄, 尾崎米厚. 追跡の完結. 柳川洋, 田中平三, 中村健一, 永井正規, 編. 慢性疾患の疫学調査法. 東京: 南山堂; 1991. p. 93-108.

③ 電子出版の場合

Foley KM, Gelband H, editors. Improving palliative care for cancer. Washington:

National Academy Press; 2001. Available from

<http://www.nap.edu/books/0309074029/html/> (accessed 2009-09-28)

伏見康治. 記述的統計学. 確率論及統計論. 東京: 河出書房; 1942. 入手先, 統計科学のための電子図書システムのウェブページ.

<http://www.sci.kagoshima-u.ac.jp/%7Eebsa/> (accessed 2009-09-28)

(3) 学会報告

① 独自の抄録集が刊行されている場合

Bengtsson S, Solheim BG. Enforcement of data protection, privacy and security in medical informatics. In: Lun KC, Degoulet P, Piemme TE, Rienhoff O, editors. MRDINFO 92. Proceedings of the 7th World Congress on Medical Informatics; 1992 Sep 6-10; Geneva, Switzerland. Amsterdam: North-Holland; 1992. p. 1561-1565.

花輪治子, 中野弘一, 筒井未春, 箕輪眞澄, 土井由利子. チャルダ-疲労質問票日本語版の作成について. 第7回慢性疲労症候群(CFS)研究会; 2002.2.2-5; 大阪. 第7回慢性疲労症候群(CFS)研究会講演要旨集. 2002. p. 38. (「同講演要旨集」や「同抄録集」と省略しても良い. 発行者が明記されている場合には, 「…講演要旨集。」に続けて「発行地: 発行者: 発行年.」をページの前に記す.)

② 抄録集が学会誌に含まれている場合

土井由利子, 井上雄一, 箕輪眞澄, 内山真, 大川匡子. Periodic Limb Movement during Sleep (PLMS) に関する疫学研究. 第13回日本疫学会学術総会; 2003.1.24-25; 福岡. J Epidemiol. 2003; 13(1 Suppl):149.

③ 電子出版の場合

Homma N, Sakai M, Abe K, Takeda H. Dynamic neural structure for long-term memory formation. In: SICE Annual Conference 2004; 2004 Aug 4-6; Sapporo. Society for Instrument and Control Engineers.

http://www.jstage.jst.go.jp/article/sicep/2004/0/2004_1_1/_article-char/ja/ (accessed 2009-09-28)

(4) 学術報告書

① 研究代表者(総括報告書)の場合

緒方裕光, 研究代表者. 厚生労働科学研究費補助金食品の安全確保推進研究事業「リスクコミュニケーションにおける情報の伝達手法に関する研究」(H24-食品-指定-002)平成26年度総括・分担研究報告書. 2015. p.1-6.

(最後の「2015.」は発行年. (西暦))

② 研究分担者(分担報告書)の場合

水島洋, 緒方裕光, 金谷泰宏. 難病データ登録システムの開発, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等克服研究事業「今後の難病対策のあり方に関する研究」(研究代表者: 曾根智史. H26-難治等(難)-指定-001)平成26年度総括・分担研究報告書. 2015. p.109-155.

③ 電子出版の場合

Foley KM, Gelband H, editors. Improving palliative care for cancer. Washington DC:

National Academy Press; 2001. Available from

<http://www.nap.edu/books/0309074029/html/> (accessed 2009-09-28)

(5) ウェブサイト関連

ウェブサイトの場合

厚生労働省. 社会福祉施設等における新型インフルエンザに係る今後のクラスター（集団発生）サーベイランスへの協力について. 2009-8-26.

<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/hourei/2009/08/info0826-01.html>

(accessed 2009-09-28)

※ ブログ、メールマガジンについては引用の必要性を十分に検討した上で、文中に必要部分を引用してください。

13. 補足資料

ページ制限を超えて図表などの提示が必要な場合、論文に電子ファイルによる補足資料（Supplemental information）をつけることができる。補足資料も査読の対象となる。補足資料は印刷しないが、印刷する論文にその存在を記載し、参照可能な形でウェブサイトに掲載する。（例：「補足資料1 アンケート原票」, 「表S 1 対象者の詳細データ」などと表記する。）

14. 転載許可

図表や500字（英語200単語）程度以上の文章の転載を行う場合は、出典を明記しなければならない。出版物である場合は、著者及び出版社から書面により転載許可を受けること。

15. 著作権の承諾書

著者らは、受理後、著作権の承諾書、別刷りの必要部数を提出すること。

平成28年1月27日

General Guide to The JOURNAL OF THE NATIONAL INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH

1. Introduction

The JOURNAL OF THE NATIONAL INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH is the official Journal of the National Institute of Public Health, Japan. The Journal publishes a broad range of manuscripts on research and activities contributing to promote and disseminate public health and social welfare improvements. The editorial committee is responsible for the Journal contents. The manuscripts should contain unpublished work, and the content should not simultaneously be under consideration for publication elsewhere. The editorial committee receives contributions at any time, and contributions from authors in countries other than Japan are also welcome.

2. Categories of Manuscripts

Nine categories of publications are acceptable:

Peer-Reviewed Manuscripts:

Reviews: Summaries and reviews of surveys and research in related areas. (Up to 12 pages*)

Original Articles: Articles including new findings based on original research. (Up to 10 pages*)

Short communications: Articles including some new findings, simpler than Original Articles. (Up to 5 pages*)

Research Data: Articles about surveys or statistical data. (Up to 8 pages*)

Reports: Reports on practice and education of public health and social welfare in Japan or elsewhere. (Up to 5 pages*)

Commentaries: Comments or proposals about actions, policies and trends of public health and social welfare. (Up to 5 pages*)

Non-Peer-Reviewed Manuscripts:

Explanations: Summaries and explanations of activities, policy trends, advancements, problems and views in related areas.

Letters: opinions for publication in the journal or timely reports of practices of public health and social welfare. (Up to 2 pages*)

Book Reviews: articles to introduce books about public health and social welfare. (Up to 1 page*)

*Based on 850 English words per page. The Editorial Committee may ask for correction of contribution manuscripts or accept manuscripts exceeding the page limitations, when appropriate.

3. Special Topics

The Editorial Committee can specify special topics for each issue of the journal. The Editorial Committee can request specialists on the topic and/or call for articles.

4. Publication

The journal is published six times per year. Supplementary issues are published when necessary.

5. Submission of Manuscripts

Manuscripts should be submitted by e-mail or postal mail of electronic media, accompanied by one printed copy of the manuscript including:

- a cover letter,
- an English abstract and keywords,
- a manuscript (preferably in Word format) and,
- tables and figures.

Authors should prepare manuscripts in accordance with Instruction to Authors, which follows on the next page.

6. Review

Peer-reviewed manuscripts submitted for publication are subject to editorial review and revision. During this process, the scientific content of the manuscripts is usually reviewed by at least two specialists in the relevant field.

7. Publication Fees

There are no printing fees. A PDF copy of the article will be provided at no charge. Offprints are supplied at the author's own cost in sets of 50 copies.

8. Author proofs

The corresponding author is requested to check the proofs carefully, mark any printer's errors, and answer queries as requested. Author changes should be kept to a minimum. Proof corrections are requested to be returned within three days.

9. Copyright

Accepted manuscripts become the property of the Journal of the National Institute of Public Health (Hoken Iryo Kagaku). The material may not be used elsewhere in the same form, without the consent of the Editorial Board. The PDF version of articles will be published in the online Journal on the website of the National Institute of Public Health.

<http://www.niph.go.jp/toshokan/home/>

10. Submission of the manuscripts

The Editorial Committee

c/o Research Information Center

National Institute of Public Health, 2-3-6 Minami, Wako, Saitama 351-0197, Japan.

Phone: +81-48-458-6213, facsimile: +81-48-469-0326

e-mail: [jniph @ niph.go.jp](mailto:jniph@niph.go.jp) (delete the spaces when submitting a manuscript)

(27th March, 2013)